



グリーンクラブだより

Vol. 11



グリーンクラブのみなさん、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか。梅雨があけると、暑い夏がやってきます。体調管理に気をつけて、お花の手入れをしましょう。

● 配布のお花について ●

今回は、5月に配布したサルビア2種をご紹介します。

サルビア



サルビアは広い意味では『シソ科サルビア属』の植物すべてを指し、ハーブとして知られるセージ(薬用サルビア)もその仲間に入ります。その総数は500種以上とされています。園芸では単に『サルビア』と言うと、サルビア・スプレンドゥスとそれらの園芸品種のことを指します。夏・秋花壇、プランター植えでよく見られる赤色のサルビアは大体この種です。咲き終わった花穂をそのまま残しておく、見栄えが悪い上に株が弱るので、枯れた花穂は切り落としましょう。また、

真夏の高温多湿時期は生育が衰えて花が付きにくくなるので、ひととおり花を楽しんだら一旦草丈を1/3ほど刈り込み、風通しをよくして夏越しさせましょう。秋に涼しくなると茎が伸びてきて、再びきれいな花を咲かせます。極端な乾燥に気を付け、土の表面が乾いていたらたっぷりと水を与えます。乾燥に弱いといっても常に土がじめじめと湿っているような多湿状態では、根が腐ってしまうので気を付けましょう。

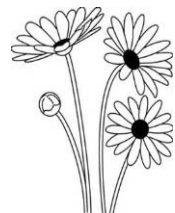
ブルーサルビア



寒さに弱いため一年草扱いされていますが、本来は多年草なので暖地では越冬します。春になると株元から新芽が伸びるので、冬に古い茎は全て切っておきます。2年ぐらいいい花を咲かせますが、古くなると段々花が小さくなるので、挿し芽をして新しく苗から作り直すと良いです。暖地で越冬したものを春に挿し芽にする事ができます。挿し芽によい時期は6月頃と9月下旬～10月頃です。秋に行った場合はプランターなどに植えて霜に当てないように軒下などで越冬させて翌年に開花させます。

● この時期にやっておくとよいお手入れ～マーガレット編～ ●

草丈が15cmほどまで生長した株の新芽を摘み取り、わき芽を育てることで、花数を増やすことができます。9月頃に全体の半分くらいまで切り詰めましょう。



● 水やり～鉢植え編～ ●

時間に合わせて水をつかいこなそう！

植物は昼間高温であっても、夜間温度が下がれば一息つくことができます。夜の温度を下げるために、打ち水を行いましょ



朝

鉢土にたっぷり

鉢土へのみずやりは朝気温があがる前に行うことで、根が蒸れで傷みにくくなります。

夜

葉水で地上部を冷やす

ハス口をつけたじょうろで株全体に水をかけ、地上部の温度を下げます。通風が確保されているとさらに効果的です。石畳やコンクリートは熱がこもりやすいので、たっぷりと水をかけることで、周囲の温度を下げるすることができます。



● 水やり～地植え編～ ●

地植えしたのものには、基本的に水やりは不要です。土が乾燥しすぎている時のみ、水やりをします。

◎

水量を少なくしたホースを花壇中央などで、出しっぱなしにしておきます。シャベルなどで10cmほど土を掘ってみて、しっかり水がしみこんでいれば、水やり終了です。深いところまで水があると、表面が乾いても根が水を求めて深く伸びていきます。

×

シャワーノズルで全体に水やりすると、一度に広い範囲に水やりができますが、表面の浅いところしか水がしみ込んでいないことがあります。表面にしか水分がないと、根が浅いところにしかなく、表面がかわいたただけでも影響をうけてしまいます。

☆意外なハーブを麺つゆの薬味に☆
ワサビは日本原産ですが、シソ、ショウガ、ネギなどは熱帯アジアや中央アジアなどから入ってきています。

西洋ハーブも薬味に合うものがあります。ホースラディッシュはワサビがわりに。コリアンダーはエスニックな風味を、レモンバームやレモングラスはさわやかな風味を楽しめます。ディル、バジル、オレガノもおすすめてです。トマト風味のめんつゆには、タイムやローズマリー、セージがよく合います。この夏、試してみたいはかでしょうか？



ローズマリー



ディル

ご意見・お問合せはお気軽にどうぞ

みなさまのご意見もお待ちしています！

目黒区みどりと公園課利用係

Tel: 03 - 5722 - 9242

Fax: 03 - 3792 - 2112

Email: midori06@city.meguro.tokyo.jp

